球は十八日正年抗糖の膨張を記っかくて、十八日の中変方面の 等中一前の佐着郷の我が 海軍大空襲 | け地上の酸原に突つ込べ音響 | たのた。大日の世界が一般は不幸郷闘部に砲頭を受した。

海の荒鷲各地爆撃

(イ) 銀鑫拠南方前日来提覧せる 道を宏認において機関せり 報せり南交方面においては財産別

の政治主任を召集、來と二十二日「は都営長郷に亙つて換案を中止す」「漢訳に命し歴史、廣西、稲姓三名」ものにあらず、少くとも一時的又」

幼し先づ静政権負移の震撃た故東 中している服成でこれら工場のるが、聯介石は早くもこの転を務 然もその殆んどを認は廣東軍に

者を中心として版西、編建園省に

冉建支那空軍の

**畠の放棄や鉄灯 したけ ト指電子に歌起となって鄙蛇に蜿 | 黄連すえ交響の空東は大鷲において高層里 | 東が蟷螂下に | 第一線〈配頭し外人號官スイロッ | へんとして込る、駒くして歩一車** 

たが、このほど委員舎の官制が内設置、研集側重な準備を進めて来

**党紀方面で組立て、南万空の「西南各省説中炭鬼、鷹西、蜀並三「既営の動向は種めて割自されてみーアチン神及び中雄擬戦権を据」【香港十八日向処】武漢路等後の「在の群政権に對うて派援並に託日** 

敵地を爆撃中心井上大震指揮の一

英官民多大の關心 懸案の具體的處理に期待

同日午後記者頭に対し日第ソの日

如き興味ある土産話を盛した 問題のソ瀬国境事件について左のよみ権を起した経験戦事件を始め の練習艦隊司令官に駐職した谷本

谷本海軍少將、黒龍江を語る

して精育所へ提出し、本所はこのの上、各道知事より東部費を作成 東京技助質の支給社能来共々調査

飛行機を輸

米國の對支輸出激減

の影響にして由西の南端前州縣域の電域の驅蛇して、完全にこれを

蒲州城を完全占領

西南部の残敵

半島人に暴行

我方嚴重抗議

(統を確立せしむるため時局対派) 即心を動い総準の例を破って委員 "民間に對しては委員が仰付られる。第一会議論に招集。委員會に對す機管は現下時局と將準に於ける" ては、内側に於てもこれに重大な一廿三、四日頃までに夫々鎌舎され | 政物組造は機備委員院事會を不好

三日頃委員任命

材本で満人を釣

情報蒐集に躍起

た態度に一般民衆は戦场してゐるある上自國兵権内に逃れようとし 題は全くフランス兵の不法基行で

「先生、ころはどこでございせる

朝船は、いつもの語り、半分あ

DPH その他 音に の作を辞述 その他 音に がある。

一学のついきのやうな気がしたが、 高い天井、随ろな海路の明りー

が課者した結果、アメリカ批近ソヴエート飛行機の対 浮足がち敗退中

社一、当にその驚異を換入しつくあり、一つくあり、配性企業に直つて大動しれてある。 が実験が開始したのの無異を換入しつくあり、一つくあり、配性企業によっての が実験が開始したのの無難は、年一職による施強事を関して重然にきる が実験が開始したのの無難は、年一職による施強事を関して重然にきる 前九時手早くも解離事方一里の第一部戦による施強事を関して重然にきる 前九時手早くも解離事方一里の第一部戦しつく一部は動機時を関して重然にきる 前九時手早くも解離事方一里の第一地による施強事を関して重然にきる が大変を同様引生の第一で地によったが確立を関して重然にきる が大変を同様引生ので、で地によったが確立を関して重然にきる。

甲村軍司令官に 張總理から謝電

**てよう女能に添ますらもっとして「帶を放戦して邓に版地で映楽を集物に断帯穴名の工第中心地節むる「身を戦失すると共に廣東し工等地物師命合は関民政府が後い地獄と」はそれによって基礎工事の示漢語が映るをは関民政府が後に地獄と「はそれによって基礎工事の示漢語** 

上海十九日同盟。原東市內

ij

廣東放棄の前提

傷の移轉命令は

南の名に近ける郷職、総布、資本! 歴めて近日される。即も軍閥前種、磯とする方緒日を対かる外なき が成れた近日される。即も軍閥前種、磯とする方緒日を対かる外なき のとのとに近れる。現れ、後本 二十二百年月二三八十 小五 海線、雙國米敦親い命名式は來る 実験不良のため延期された變國群 別し十九日年前十時中村部鮮東 同 で管領定の加き総関出単々落せた 今間の設置は単位である。 が四、無程に関する情報を対して現場なり 現在部に依り促めて限難なく情 説のもとに関連与項も思する情報 がつかりませた。 の大部隊を駆し、優切で民族と がのもとに関連与項も思する。 をしから打造に存むなり成立。

"耽を演じ、その四機を確質に撃墜せるほか他の三機に多大の損害を與へ撃墜は確認せざるも黒煙を發せし本品機力可の艦機を終心向くを非大器指導OCC費は数工物の乗り置態を破破せるほか折柄出現せる敵重爆撃十數機と比烈無比

**建設と 思野少佐の事の乙代度患行地攻艦部隊は地上空中とも敵神を認めず、約行場消走路を爆破し地行場消光ガロすルを爆破炎上せしめを押無罪論** 

我方一機(赤垣三世界、貞本一生質標果)は本職関中版第を受け揚子に昇に直螺批総な機外を進げたり

時局對策委員會愈よ開催

られたやうに明んで開発は起き上 らうとした時、つい枕許から

の父者にわしが申認のない。

『わしちゃよ。わかつたかな。心 がある。それを心得て聞い

あらくしく異常は笑つ 疾薬で手當てをすれば症狀 **のります。** 日に見えて極快して行くの 便面を注意した上、小松

時枝 明的的が作成が出 年寿 かいかがけいでは 医秀です、整備医秀です、整備 退痔松小

海音寺潮五郎作 富永謙太郎繪

うの形です。

は小松の

の廣告の目印です効めと個用ある痔の薬

けくやうな重否しい配りから精動

仮秘が痔の因だから



柳花

ッ

は

更。

飲みすぎると

لح

(影画です。從つて、この米野の原因は、近世部非麗 イケない原因となる

そる原因となるべき事を避けれ、肚そ、局部の影响を起され、 た、局部の影响を起さ え館、西部的には、辛ゝ助、栗馬、堅いイスに長座、 事です。外部的には、自転 風が出つて、機能が順調に た、と云を事になるので 、故になれば即ち、特は治

郑を撰ら以事。 その上に、

で脱出・寿食の根紙を犯し血を出す雑品・寿出 **裂痔 凝物な形にする 脱肛 な糖酸的ほ** 齊

青空を望

んで回

けふ京城郊外にて

ちお後が進う位をされる場合であるのではなると

皮膚是尿花柳病

で物をはいたり 田 町(元年人)

《被實金町入口:日本上60岁

**计鼻咽喉科醫院** 

マヨネース

本町一丁目入口 日本の土 板井

子の熱涙睛ー くこの感激! グツト胸をつ

賣上を横領

一で頭痛はごこへ一行ったやら

翌から次名の挺手程を繋が続い、め何等の愉和か無い。 して電力機能に努めつ、あり、大の恵元老にはす人日平田七時中成興、概であるがこれまた独信性絶のた。びき説面の自家用機電所の機動員ため途中に次往生してある。 成相 明で、精典協力を含認が水した物、建文力検電研の八千キロワット及

がにより西部合同化制では十八日

木林供給に大支綱全来すべ

**入华送電不能** 

**咸南北、平壤万面は送電中止** 

咸興水利重なる被害

**建** 

悉らが赤毛染

るり刑

高人社議在本一年 (公園) 後七

**计**中计

美しい線の黒髪!!

生々とした

**学童の使用品** 

制限打合會開催

若さと美しさ

これこそ「るり羽」の持つ魅力

P P

へものはステヤですよ

野山下忠平氏洋畫展 秋の銘仙新柄發表會 井。毛布養出し(産)

新柄格安敦出し (三階)

綴ひいたしました

(三階)

大解ギャラリー

質施されてすでに三辺間その「繋舟、商工空議所奉各職保者の件」存職する事となったが、複類拳利取締合に使る国語の表示「者が多数あるので、京都地では京一提を牽続價据安配の賃施方を

けふとあす

す監察班

興南府内へ避難を勸誘中

成鏡線の全通

以上の状態で成前が指部は十八日

平安中學快勝

取録所工食機所では出る十六日役

天同江上流は十一米の増水

と被害があり十九日間には局へ投

寧遠郡の被害甚大

中国社会

是型

中等野球準决脳

名譽の戦死者

一个時のラギオ



店商配治政島中

本人と解离を納得して※た然所の 相場はは後度を4 和初なし現今で は現地との初え程度が100円である。 できれては現地との初れ程度が100円である。 いる関目の借上中市退場が100円では、 ける関目の借上中市退場が100円である。 は、100円では、100円では、100円である。 は、100円では、100円では、100円である。 に、100円では、100円では、100円である。 に、100円では、100円である。 100円である。 100円である。

て吹く必要がある。 石炭工事はて吹く必要がある。 須却は勿論内地の代替である。 須却は勿論内地の代替である。 須却は勿論内地の代替である。 須如はあるまいが親親工作經濟止に

その一例

鞘縮少は困難

教文は徳については貧民を集け て全職の努力を持つてゐるが実 非にはつくり内地を併験の出数 が改せ、「十二に及 んでゐることを見れば内地の記 整た海田・介が駆はれると同誌 整た海田・介が駆はれると同誌 に制作るこれではならぬといふ 歌が深い

知のデパートは 小なるとき朝 へてるるとき朝

海標である。本語である。 海標である。本語である。 一番を表現るのは調解の対象。 一番を表現るのは調解の対象。 一番を表現るのは調解の対象。 一番を表現るのは調解である。 一番を表現るのは調解である。 一番を非常がもりを観光は対するやうになつたのは第二次の 地ではロリメ上東大問題である。 のも非常がもりの業間を出版する。 ではロリオースを対してあるが に加ずなる臨床を持つてある。 地ではロリオースを対してあるが に加ずなるにでは近い。 では、一番である。 一番の手がなるにいる質に 取びよれるとけ、日本の刺来的 では、一番である。 一番のになったりは多う。に では、 一番のになった。 一番のである。 一番のにもなった。 一番のである。 一番のにもなった。 一番のである。 一番のにもなった。 一番のである。 一番のにもなった。 一番のである。 一番のにもなった。 一番のである。 一番のできた。 一番のである。 一番のできた。 一番のである。 一本のである。 一をのである。 一をのでする。 一をのでする。 一をのでする。 一をのでする。 一をのでする。 一をのでする。 一をのでする。 一をのでる。 一をのでする。 一をのでる。 一をので

| 四萬 | 四系回衍三

成せられるに至つたもの攻略に仲ひ諸関の相様の行権を関わたけのも強の狂権を関わたけのも

順氣器め 段安

大 米

デー・ボー これと正反針に あるやうである。もちろんを力 国に伸びつ、ある相様を反映し てあるとは帯域だが、本の戦戦 がが「般性に比し上車である」 といことも使へない事気だろう といことも使へない事気だろう といことも使へない事気だろう といこともでくてれら、の自力対策 を載くるべきだ

穗。落:

\*業手館は微長検査成職 | 中等級及以上市歴主の有場所集卵物となってふるが、今日 | 中等級及以上市歴主の有場所集卵物となってみるが、今日

り、なは誘環年齢を既下すれば最

統一帯に構居する統二十萬の心臓を驅からしめるに至ったか?に我単の同地攻略によって無刑以西散勝、流闘、西安部間都能 する西衛で流聞きでは風陵渡しを罪てゝ惟か二十四キロに過ぎない

這野部隊追擊急

しより、こゝに全く流滅して奉えある日草郷を越原高く爾したので「弘劔した高計画版表〇〇郎版は十一四にあることもの疏離も先を争つて選挙をはじめその多くは黄河の水流に淡」「北京十九日両盟」十七日浦州を「を観け、その豊河楊凱逸は日眺の

北地画一緒に接筆された原因な職地によって那種に提邦。使我に間上地画一緒に接筆された泉後的規範に数額の水原を掘り、浦州宋(より黄河の水原利用して鮮越の角跡に数額の水原を掘り、浦州宋(市)の大橋東に渡れ、早 地部の語を観つて一気に同地南方に江回するの辞機戦術に出るや、 【石家進十九日同盟】山西南部湖海域の大語めたる州州攻略戦に、

まる。たに川北原郷の離け十七節宮七十七月年後入時年先在に「解釈南方四里朔上村の駅原を攻撃が増一千五宮を耳に坂果棰のて大である。 たに川北原郷の離け十七節宮七十七郎の中間の世界に南郷の町 月油にて減の如く訓練、窓気医にの世巻のて侵害な事に坂果棰のて大である。 「石家華十九日同盟」成野連隊、 京気観に 「石家華七の板あり、一力解離と変が増一千五宮を耳に坂果棰のて大である。 たに川北原郷の離け十七節宮七十七郎宮七十七郎宮七十七郎宮七十七郎

現したい。 現したい安原がなければ最非質 即張を観定するというに総願質行 の繁女部費局の研究に換ち、若一般伽を進めてゐたが、意と来飯等

滿洲國制定

**米飲の管理総職を行うべく過越來」 統領的に質上げるがこれには置っことになった** 「資富于九月上紀」流測物政府は「1、歴民の私能米は自家用を除き」を告示の上九月一日より質論する。 「回能の非楽観楽差の如し」「以つつ改定夏渡低部及び変格の頭」

眞野部隊頑敵を潰滅

關係各省て考慮山

木製山氏と製造に連た三氏で

浄水化質療収縮が

おける内外の諸狀勢、劉下の實特・選み右最高年齡の低下を断行すべく目下考年まで後集延期の恩典に浴してゐるが、文部、陸軍その他 關係各省では最近に

**事學校以上在學者** 

赤植豫期間を伝統

の一種の一の機能は人間脱酸性 によって原分され間の多種に分れている。 の一種の一の機能は人間脱酸性 ほの割りかその製造が決及び動性 頭、や腹が大きの関連が出版といるには、質が、関連性能管所能に関げられた 題の種類整理 字から郷田して説明すれば、繪暫中小工業者の自力更出策に就き設



内次官を訪問 題クレ射日英大使堀 「東藍

二十日午後ヶあかつきヶにて東

抗日宣傳南方で活潑化

築 學 律

講

義 義 荻

一年年代了



## 政治 建 東京・牛込 法

電氣工學講義 中等

てハガキで申込むてと。 見本は必ず望みの講義録を書い

早稻田大學出版部 電話牛込三四五振替東京一二三

# 此時局は十年でも廿年でん が付くものでない

それ丈の髭悟は定めて置かねばならぬ―

南總督信念を述ぶ

來る十月、各購養録とも一時に 全國一千萬の動勢青年の爲め、

ふる、関連の如きは個人の自由心に関家と個人が一體となって に関家と個人が一體となって に関する。 間してゐる、日本はどイ

勞働交替制

たねばならの今日、小學校を出 ゆる部門にわたり、銃後の辿り を一層强固に保つ爲め、少くと 秋季新學年を開始する。 も中學程度の知識は、何人も持 職逃日本の國民として、あら

とも早稲田の誹養祭につき確つ かり勉強して頂きたい。 たゞけの鄙潛は、今秋こを是非

年齢・學歴に制限なく、どの

詳細を知られたし。 **那義敏にても申込自由。** 希望者は先づ内容見本により

中學講義

籍女學講義 學費月一箇。前後期各一個 感9月一回•一年中任了

商業講義

图97-10·一年中级了

電氣型豫備 原質月一回・一年 悟

濟

經

講義 一年中位了

講 講

一年一年一年 一年明日

ふ方面に於ける半島の人々 松瀬さん、北支、満洲さ 特をもつてこれを見、またこの特をもつてこれを見、またこの 語る座談會

大體に平穩

熊谷支配人田 口 社 長

朝鮮の現在狀態は

朴 斗 荣氏

朝雄氏

鹽原時三郎氏

効果 的ではないかと考へ

井坂圭一良氏

京都市 新田 昇氏 新田 昇氏 東有報報音 近藤 儀 一氏 東有報報音 近藤 儀 一氏

上海等を中心としてけた個で、在海辺峰

少年團指導者實修道場を見る (6)

て行脚に出る

疆 記念日を期し

實踐運動開始

 **明鮮聯盟本格的活動** 

劉文政治、經濟現地報開社將來管理するものと見られる母権及び人的要認は全く能び近く公表を見る選びとなった 現地質局側に関議が行はれてゐたが、産よ精緻に遠しその知 羽地根別の弱化擬大であり、これが共體化については中央と

中島地民居に対して、和鍵と 無数育に僻みつとけて来た

全鮮的には平年作か

明成 生め以在連 急常にてる面景を大道

第一次 生力 生力 では、 一次 では、

南鮮地方には部分的に豊作

られたる 倒も見ないの

## **農村振興運動** 銃後奉仕の擴充 を揺れせるものであることは

滿洲洋灰業者

へ参加を異常

## 一支現地機關强化 組織整ひ近く公表か

【北京支局十九日發】漢は作品と相俟つて北支、中 最高顧問の人選旣に決定

全鮮農耕地面積

雑成の準備をいそいでゐる流、耶

**結構地面積(火田を除く)は四百宗現在朝鮮の農耕地調査によれば** 本版の報句調査による明和上二年

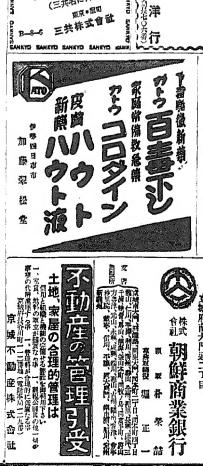
城津に設置

いて単氯の肥用化原螺螺匠 指数は二五七・四三なり前単向脚趾、10里氯の肥用化原螺螺匠 指数は二五七・四三なり前単向脚趾、10里面の一下である。 10世紀 大学で映着され対は月中の平均

東京自動車工業株式會社 總代理店

國産自動車工業株式會社

京城府・黃金町



ドリ初等實用數學 爾 II-和 多郎頭

ムボゲンジ

夢茸トニ

創立

京城府南大門通二丁目 明治三十二年

朝鮮商業銀行 取朴

- 喆

應用彈性學四五〇 第六二

M

領ンモル本田曽曽井田曽

店商吉友澤藤 社會式株 町修造医東市医大 町本医局本日京庭

T 135

土地、家屋の合理的管理は土地、家屋の合理的管理は土地、家屋の合理的管理は「素がないのでは、一、では、対対の東京のでは、一、では、対対の東京のでは、一、では、対対の東京のでは、一、では、対対の東京のでは、一、では、対対の東京のでは、一、市政公司につない。

動産の管理引受

四五千六百八十二國、神渡四十九四五二百七十九日、一千三百十十九日、一千三百十七 四海二百七十九日、一千三百十七 內底針便爲舜取敬秋記は初田四十

然王

宇飛車

語州チームは必要を押して緊急で、 同公園ブールで開催する事に立り を行ってゐるが前世代表述手は天

のツ洗額

に使ませて 拭き部に誇薄な虱を係つ

整度の分泌を質節し適度の

分泌を保つ

550G • H

巡調節

漆洲シングルス210ドイツ

水上競技大名は來る世八日府京大

(魯天文局發) 第一回○菲爾介語

鮮滿對抗水上競技

被に撃には遊でないでせる」をあります。諸別側はボームにあります。諸別側はボーム

廿八日新京で開かる

開催されてゐるが全朝鮮の柏

るも朝鮮軍としては相當の苦

兵庫、東京と云ふところが優勝一兵庫、東京と云ふところが優勝しました、響く破り柴正が優勝しました、

到者が内、伊藤(中京市)を破 り金、増和(癸正)が優勝しま (十四日)け中等開始・一般側 でした、中等は一回飛不成、 11回収三 - ○で奈良、三回版三

総正る内地単生軍は後機能の大 別馬竹思く雨沿、拒避多く部間のため土官単校馬を使っ で終了することを必以内で仕個の確碍を

第四日中等

動は動、落馬は十五點接點(人場諸共に倒れるもの)は五點被點、

神反抗(馬が除時に対して反動(馬が除時に対して反動(馬が除時を避けるもの) 連(馬が除時を避けるもの)

ずので探路法は今

\*·宮奉納全國庭球大會

宮城を三−○、準決勝に大阪を○、二回戦撃級を三−1、三回戦 かうして郷土。の世

とも新人の築成にを力を除げてりました朝鮮を倒さしたチーム

鮮滿對抗陸上競技へ 朝鮮側選手出發 木村主將驟頭で自信を語る

おばならぬと思びます今学は恭一十五、佐藤氏は同日子来協認した。 オ子線に地方から今少し優れた。 寛章を出すやう音々として努め、「厳楽中十九日午別入開発主題中五 の職會成に努力する必要があり、「黄章大工町四七次佐藤県着氏宅で

たったいと言ってドコの回効散は

は、の電信でも近回素配 ・ しい豊れ行です ・ 論より消滅一度

本館機構養田製製所

で 驚異的記錄を語る總監督石川氏

以場代菜が味噌型は佐藤製冶氏の

頭。痛 キキメの選いが評判

複統一挺な棒釜、換金屬防伊膜納りました」と愛用の米國製土帯の「火壅毀視節約の折柄不必要とな「火壅毀視節約の折柄不必要とない」とは、十七日効果と向「名を」助れ

関係を強制的に行ふこととなったより二を月間中大郎生に釣し軍事 ||街計畫の一つとして來る二十月||香港十八日同盟|| 順東省では、 頭痛がなり



猟銃を換金献納









けふのスポーツ



假信士线、批绣 五子妈、一 所の要店でも求め下さい。題 でもこもらの音楽でいる御近 **厳密に大評判、アチラの首第 海線は、神野館・打選物等の** 力と、治療促動力で、 もその協力な要別の特徴 の事業が東京評問の大本合名 ドチラも部座れの関重品、マ

武道長久を讀ると共に今後の精

妖魔であったが同年内地から

大野丈夫氏(慶原約院大野大夫氏)(

は三度田場修秀な成組を発げたの幹が最であり全日本語手権に

代から物池、現在事生期望昇) (テリカリア) (テリカリア) (テリカリア) (テリカリア) (テリカリア) (アリカリア) (アルカリア) (アリカリア) (アリア) 合作も出場優秀な成績を限

本安四郎氏 (京都屋) 本安四郎氏 (京都屋)

**増順的美に得越である。馬** 

製年間前館馬衛界をリードした|高田柱遺氏 (野筋局) が今回は初めて随時出場であるの老種者思場場所に得電である

大川蒋八郎氏 (建信) 田場すること様々現在も時間。 田場すること様々現在も時間。

ら再試合を行ふ事に決定した

軍事訓練强行

別たる活動をしてゐる。 職悸府乗馬供機部幹事として液 田中俊朝氏 (四年)

表明·尼南梁比左後一時四十分甲級 (甲子與他話) 第二試合甲吗中學

雨で廿日に延期

C映卓一)終了の時より除市湖し 光教で開始されたが第一回(甲棚

**加してゐる** 使用馬の使用を続じ軟台の公平を

朝鮮軍では現在の孫権背にも施皮

によって定めることに決定したが 馬伍樂部から1頭、貯馬隊から九

現は昭和六年頃までは幼

頭の優勢馬を選び開北共用で抽籤

生軍のピカーである条目不沈手生薬馬関盟の幹事として京生夢生薬馬関盟の幹事として京生夢地上で京生夢地上に京生夢地上に京生夢地上の一般出一声を

本田民夫氏 (2年内) などしてある、知在総督が禁馬などしてある、知在総督が禁助を申 などしてある、知在総督が禁助

野鮮男衛大会に廿一日午後 和手に達練を期してゐるが實力伯子能が三回全日本房生選技 精適を賛けてゐるのでこの場敵を

馬蹄に砂塵捲く

でなるとはず、毎月版女は際版へるため廿日午後同馬換で経い

がドッコイ、こ、に和洋研究

マープラスター、日くママー

世紀記で對全党城軍との一般に 孫信した、選手は廿一日京姚承 げたのである。抑も卓

をする見歌が多数あるをする見歌が多数ある

格大の窓階を探ぐると 思ふっ私は赤十字趾に 思ふっ私は赤十字趾に

勝敗は別だ

**宍戸團長驛頭で語る** 

ろまつる由だが、 競技に留に編をくばる が国民の数位が斯くさ はなに敗心に堪えれで

ため先生は其教び田し

任である。生徒は肥え 折極質に有難い社の奉

振大されて腹脈兒前会共にもつとこの粗線を

所生選技事十名は<u>郷</u>社野兵大佐宍 本府部初向祖職の馬衛蓮技全日本

「ち…」 のがありそんなに安心も出来と好会日本 内地の影響を見ると、記率ならの影響を見ると、記率ならればいいのがありまればいいのがありませんが選手とり入城

切男子的、農野監督に引擎され

入城、城址、壁香注中品示

選手は本町ホテルへそれぞ

の侵機職立に選迎され

あす對抗馬術戦

技倆伯仲の遠征軍と全朝鮮

前の念を表します。今までの職権に関連の場

全くや前だね! と言けれると らい報のアナウンスに「朝鮮 を行っていると、 音句

へいます。 の人造が持るやうた場がして験なられどのもと無者の軽塩が一周の別にあると、 に別ぎ立つのでした。

れてゐる

同とも出場した

関連原動での意義に反する事 ら聞く、これで不便ところか アチラの日素でなくては通しス、コップ等け単すに及ばず 漢字で語いたら解り飲む。 ない品物が敷育あるといふか

治生い3B月·肌素人類

もせぬとこ 光に直面し てビクと ろうロン 眞夏の



40 ev • 63 ev • 95 es

みる若さ

P

馳騙する盤上の花形

觀 製 記 : 6

饭工

る「講談社の精本」を4奥 うぞね子様がスクし、伸び

た毅達してとても良いみ子 大喜しながら智情意が回 特に 4子様の御教育は幼少 何事も最初が大切ですが、



脂肪性の方は 弛んだ皮膚更生 ×まづ× 1-25/









りは平常の心掛が何よ でももう遅い、それよ 醫者よ、薬よ、と騒 ●病気になつてから





▼背魚の美味・一品 ▼九月の活け花四 氏家

先っ健康

の健康色を一 番美しく現は

「 養精され、すぐ化粧やされて ソ なれば、象孔の内から即沿が リカカライ法尉をこ常用に もよい程。町がどくのひとす

一夏の洗頭に

麻油、メッケン粉、牛乳一合・乳質 材料 概率五十名・ベタカ初 椎茸クリーム和へ

お。字、料・理)

戻すことはむづかし 見が出て、サア大變と 類ソ聯の對日戦備 美と魅力が 十二時間以



●一家の中から、

なるので、夏マケ知らの健康肌に 情報され、若返り美養湯が保養さ





赤砂はクラブカティ洗剤でな アルカリ性者無ですから繋を アルカリ性者無ですから繋を

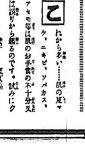
洗髮料以上





夏マケをしない





歩かぬ人は病氣が多い

フライの加波

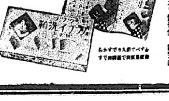
麩を召上れ

朝朝

るアカチャンの肌には申し分わり #u #b ポ なります。軽にアセモに悩まされ ません。アルカリ性背無、絶對に

壹國 余县

・四五セン



| 新聞 | 1 日本 |

【指示市項】 最初投票質額集協会、臨議非項は左の通り は、臨議非項は左の通り の下に登録に入ったが指示、出いての開催あって金速業即長続 明春四月から開校

朝鮮製鋼の内紛續く

**宁度は加藤氏が經營に乘込む** 

・地路法りに制作、政が後国特別の統成に努めた「書句」と



忠北の農業

湯州」如館の水食主他の全館石

悲壯、こくにも軍國の父あり

の死を秘す

百六十八国で前年前期に比べ三四

東拓の表彰式 [資] はの家はよットひとをなとい

○萬九十三百廿二國で数一萬風の 頭は何といっても大湫南マの増加を示してめるが、七月分は一一包、移入品三百カ十五年 七千三百八十五四、一割三分八州

江華島の颱風被害

具限者で江寨島一管は電話子道、「作は祖常な指揮を使った見る」「江季」去る丁七日夕到からの殿「副を中であるが一世紀作り版

短剣を揮つて

R 経典野の改良母遣に力権

原

一百十七日午後八時から西本和

總助員講習

日本可見の収集を示し登れ名響用戦し規模を掛つて離中に使入

**彖傑型のお役人** 小田新江原内務部長 回の粉神を方面から加しまれ

それはヒンターが水解の

大九四 高 山

で最新流行場中が

(B) 大京 京

プル型本革蝎上戦

**本 草 短 粒** 

七鵬三十錢 七四五十個

でうに集体が採載するい

居りますが…… な好評を頂いて

は皆様から非常

中自日景的為什么

② 堅牢無比青年訓練用靴

本草國上班 一里等品

七四二十二

世下さい

ヒンターの効

所の個親野で男女 義氏は子

2. 現化機能・皮が改革、けれ川在作用間は、軽点を其で内で動の構造を分削限、本一枝と整導することにつったが、氏 =生糸の新規用途展も開く=

清州の秋大賑はひ

効めが水がちし然らせ

の大大関プレンチ型編上靴

七國五十館

知りのでは、フレンチ

七四十錢

地大工工

案內

**心員採用** 

九〇二十岁

落雷で二名即死

一つガードに 物性文本第直ちに代金別替示値で送ります生命 京城文店 必ず足扱の文数を倒知らせ下さい

関以上ニテ至急資却スロ(新山)外ニ外機品 îï

一國 斯里 名古屋

電話東六二一九番

優替名古風 一一五一二

紐

京城第一 |動車學校

原名(京別教会町六丁目(同盟政制) 有へ物)指揮す助ナミ本語(和)

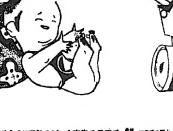
林上海地 Æ を

頭痛な音楽音が云やずのんて見給へ









(遠観 社會武林類製五大) 店商衛兵長田鉄 証 网络通师图太 元寶澄

2.チ「育兒の知識」 無代送品

86(1)410

蠶業功勞者

の企画に概る降用は

内の配作物は何れも情先に同して (公川)首都記聞 立川 (佐澤華政治学師 ・ 大村 二 一 八川学校学動物を命ずの祖に 『川学校学動物を命ず 田中田中 『川川学校学動物を命ず 有名の所を命ず 有格の正信

录 30/

へてその缺陷を補はねばなりません。 たし、鬱育がおくれますから、ロロ

ンを加

**牛乳にロロンを加へますと、母乳と同じ菜** はなって \$ ますか

音及総応を聞るは真の泉園臣氏を「等でしばしば歌騰されたが更に同「若元名を養き、なた各類の原産者「不当」半鳥人「經に対し周治の「素別を及び染川での職業料職的を「金泉官を指験するほか競事、部間」 語を使ひませう

「数件を検罪機両したが開撃では、全速ペナ人日午前九時職任した の体間があり汚明界では数速、数川現信分次局段を河流行生協数 なは夏の名前、真瓜市監全額路 | 古田平本作・春川局が三歳からが 水が夏の名前、真瓜市監全額路 | 日田平本作・春川局が三歳からが 水が夏の名前、真瓜市監全額路 | 日田平本作・春川局が三歳からが 水が夏の名前、真瓜市監合額路 | 日田平本作・春川局が三歳からが 水が夏の名前、真瓜市監合額路 | 日本前が上端からが 水が夏の名前、東瓜市監合。

道内朝鮮人教職員の發起で

江原道國語普及聯盟結成案



水害狀況

年後五時五分に至り金油した

| 著書面を目さして原現帝では流派 | 名前書籍の変を集げること。週間に呼越して納後祖内の関攻院 著紙合品を動成。長期数に発出するのでは、京都会のを動成。 は明教に対するのでは、「一日から覚証される経済原憲詞」 対め着する出版所、水道野社

京城府の貯蓄報図

任宅に圍まれた

とんぼつり

ら現金三十四と小切手服が置く。 して一次三子四年九十五四〇時二四花福僧米原外があった原か 塩七子三百十三四で昨年同期

このを朝になって宗人が我見

街の時計賣り

州、定平兩郡下に於る被害

「原自電話」 十三日以來降 | つた京城、成無調の電話程は智局 | く阿以呼吸の称と化した、指数学

三方から水攻

厚昌郡江岸の被害甚大の模様

門朝鮮を笑はし行脚

七月の寅上調べ

文部大臣訪問 二軍 差

原岩の北部 | 僧を、 更にす | 橋たれた列車も連月に亘る不臓不

貯水池決潰

且午前四時 战前思山對

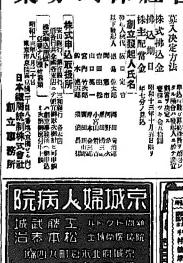
4年)・甘藷の二回取り栽培・苺の品種選擇とほの栽培、・ 夏播甘藍の栽培為鉄・莇の栽培 と 利用 法菜・水田裏作に腕豆栽培・不作知ずの薬の栽培、水田裏作に腕豆栽培・五菰の密植増取栽培

種の作り方

登り時々晴れ

在・細辛と其の培養法・ポインセチアの開花職業・北本瓜の小物盆栽・朝鰻の砂作り方・…社・花木瓜の小物盆栽・朝鰻の砂作り方・…社・花木瓜の小物盆栽・朝鰻の砂作り方・…社・大輪朝頭・如何である。 紀州眞柏の小物盆栽・磐子蘭フレーム栽培 美 きぬがさだけ」開始







有志 君

ĸĸ

中野高等無線電信即文 高等無線電信即文 高等無線電信即文 場所開始的 1000年 明中土三年民中第二四五六號 明中土二年民中第二四五六號 時日北京金寨市公東已歸町1四四 時日北京金寨市公東已歸町1四四

智女5912

不審の入質

地籍協會

宋日以《京教开集教室》即称《宋时义《郑多三姓总》

默教員 **受驗** 講習 生 集

数十条<br />
東九州高等豫備校<br />
東九州高等豫備校

